

# がんばれ!! ばいとくん

第66回 がんばれパン屋さん二年生



ばいと嬢とある駅前のパン屋のレジ係として働き始めて一年。初めは慣れないレジ打ちに悪戦苦闘していましたが、今では後輩に仕事を教えるほどになりました。最近接客だけでなく、製造工程の簡単な作業も担当しています。

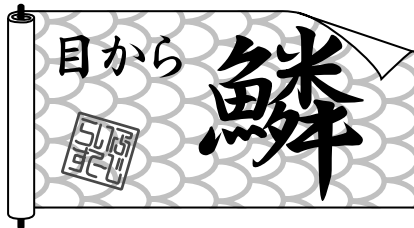
今日は朝から、焼き上がったパンの仕上げ作業をしています。何十個と焼き上がるパンをディスプレイ用のトレイに並べる合間に、順番を考えながらバターやジャムを塗りやすい柔らかさに温めたり、焼きたてのパンを冷ましてカットしたりと、一度にいろいろな事をしなければなりません。その上、今日のレジでは、自分が一番先輩です。ばいと嬢も慣れてき

たとえ、こんな日はさすがに緊張するのです。

朝はたくさんのパンが焼き上がる上に、通勤途中に立ち寄りお客さんが多いので、特に混雑します。ばいと嬢はレジにいる後輩の様子を見ながら作業をして、人手が足りなければレジの補助も行きます。もちろん、混んでいる時でも接客は丁寧にしなければなりません。さもなくば、「ちょっと、どういうこと!？」と、怖いお得意様の声が聞こえてきます。そのたびにばいと嬢は後輩のところへ飛んでいってフォローしなければなりません。お客さんの中には厳しい人もいて、顔と名前を覚えていなければ怒る人、パンの売り切れに怒る人、など様々です。

とにかくこの朝の混雑を乗りきるまで、ばいと嬢はお店の表側と裏側を行ったり来たりの繰り返しです。

「ふう〜」お客さんの波が止まって、やっと一息つきます。食パンが焼き上がるお昼の時間帯までは、客足もゆったりとします。仕上げの作業を続けていると、店内から「うわ〜、おいしそう」という声が聞こえてきます。ふと店内に目を向けると、いつもこの時間帯に来てくれるおじさんが話しかけてくれました。「このパンがやっぱり一番好きや。毎日楽しみにしてるよ」そんな優しい言葉に、ばいと嬢は「やっぱりパン屋はいいなあ」と思うのです。(アゲハ)



## プロジェクトX 挑戦者たち

宙(おおぞら)出版



右写真は書籍版。書籍版のほかにコンビニなどで販売されているHandy Versionもあります。そのほかこれまでの放送分を収録した本がNHKライブラリより出版されています。

今も記憶に新しい社会現象、画期的な新製品の開発、人々の悲願が叶った巨大プロジェクト…。「プロジェクトX」は戦後、日本が世界を驚かせる発展を遂げたその舞台裏を描く、人気テレビ番組だ。しかし、見たくてもなかなか見る時間が無い、見逃してしまったという人に読んでいただきたいのが、今回紹介する「コミック版プロジェクトX」である。

この本は一冊で一話完結となっていて、今までに放送した番組の中から、誰でも知っている題材を取り上げている。身近な製品や今では当たり前の建造物などのテーマが多いので取っつきやすい。さらに、コミック版なので、単なる文章だけではなく、物語の光景が生き生きと描か

れている。ちょうど、漫画がアニメ化されるのを逆にしたような感覚で、テレビ番組の映像、音声そのままをスケールダウンしたようなものだ。

たとえば、『決断 命の一滴』では、毎年五千人が発症する白血病から命を救うかけがえのない制度、骨髄バンク設立までのドラマが描かれている。白血病患者の女性が、入院中に同じ病の苦しみを癒し合い、姉妹のように過ごした一人の少女の死をきっかけに日本初の骨髄バンクを作ろうと決意する。

「厳冬 黒四ダムに挑む」では不足しがちな電力を一気にまかなう巨大ダムを造り上げる人々の姿が描かれている。立山の尾根をブルドーザーで越える前代未

聞の輸送を行い、工事を遅らせないために零下二十度の黒部での越冬隊を組織する。

言葉にすれば「骨髄バンクを作りました」「ダムを造りました」ということだけなのだが、それがいかに大変なことなのか、そしてその困難を克服していく人々の人間ドラマが生き生きと描かれている。無名の人々の決意や情熱がひしひしと伝わってくるのだ。

今、あなたに熱い情熱がありますか？  
(A-K)

※「プロジェクトX〜挑戦者たち〜」はNHK総合テレビで毎週火曜日21:15〜21:58に放送されています。

はみだし  
すてーじ

授業の時間は、50分か、長くても60分だろうと思っていました。  
⇒あれ？ いつから90分になったんですか？

(工・4 ベベベベベロンチーニ)  
(50分の授業持つのか? ;編)